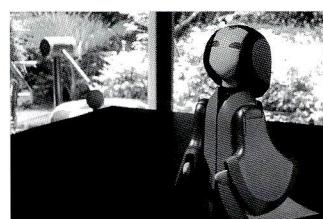
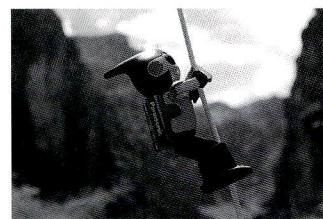


運動性能とデザインを両立するロボ・ガレージ代表格「クロイノ」(左)と、女性型の実現に挑戦した「FT」(Female Typeの頭文字より・右)。「FT」はその美しい細身のシルエットと女性独特の美しいモーションが特徴



「源氏物語千年記」イベントのひとつ、石山寺にて開催された「源氏夢回廊」内の施設「未来千年館」で常設展示された「MURASAKI」。紫式部をイメージして製作され、着物の裾を引いて歩くように移動し、源氏物語の冒頭を語る



ご存知、Panasonicが開発した新乾電池「EVOLTA」のCMで、グランドキャニオンを舞台にそのエネルギーの長もち実証に挑戦しているロボ「エボルタ」。撮影日数5日間、頂上到着まで6時間超えという苦労の結晶

ロボットクリエイター

高橋智隆

TAKAHASHI TOMOTAKA

京 KYOTIAN I.D.
京のおきばりさん

取材・文／山田涼子 撮影／石川奈都子

【プロフィール】京都出身。京都大学工学部物理工学科メカトロニクス研究室卒業。
'03年に「ロボ・ガレージ」を創業、京都大学学内入居ベンチャー第1号に。大阪電気
通信大学客員教授、ヒューマンキッズサイエンスアドバイザーと多数の顔を合わせ
持つ。著書に「ロボットの天才」(メディアファクトリー刊)。

世界が認めるロボットクリエイターが、京都大学内で日夜開発に励んでいます。彼の名は、高橋智隆。聞こ覚えのある人も多いはず。何しろ彼は、「ロボカップ世界大会」に5年連続優勝。TIME誌やポピュラー・サイエンス誌に登場する時の人、そしてPanasonicのCMでグランドキヤニオンをせつせと登るロボットの生みの親でもある。

幼稚園の頃、アトムをつくった科学者に憧れた理系少年は、中学ではバス釣り、大学ではモーグルスキーに夢中になる。転機は就職活動で釣具やスキーゴルフ用品を手がける第一志望の会社に落ちて訪れた。「人生のリセットボタンを押して」再度受験勉強を開始。1年後、京都大学工学部にいた。生来のものづくり好きな性質はここで開花。1回生で手がけた初代ロボットは、既存のプラモデルにモーターを仕込んで歩くよう仕上げたもの。「でも制約が多い上に、著作権の関係で自由に見せびらかせない(笑)」ので、オリジナルモデルに着手する。

彼が新たなロボットをつくるとき、「テーマ」があつて、それを実現するための技術」を試す。四代目である「クロイノ」のテーマは、「SHIN-Walkの採用」。SHIN-Walkとは、「一足歩行ロボットの膝を曲げた中腰歩行」を解消する技術だ。この成功が、彼を躍世界のクリエイターにのし上げた。続く五代目「FT」では、「転びやすくなるし、物理的に力を組み込むスペースが狭くなるので、細くするのが難

しい」という「女性型」に着手、X脚にしたり、肘・膝が逆に反って曲がるようにするなど、女性らしいスタイルを目指した。そして現在製作中の六代目は「速い動き」がテーマ。もう2年も製作中なので次をつくりたくないなってます(笑)。もちろんデータは内緒です」。次から次へとアイデアは湧く。だが、SHIN-WALKの製作を受けたのは、源氏物語の時間を超越した存在に敬意を表したからであり、自らの理論やプロダクトが、千年先まで残るものにしたい、命続く限り、未来の基礎でありたい、という気持ちがあるのは間違いないだろう。

製作作業は専ら京滋で、コラボレーションや個展は東京や海外で。この先もそのスタイルを維持しつつ、「飛び回りながらロボットをつくっていきます」。『つくりたいもの』あります。オリジナルコンセプトを先に提案して、それを見て依頼してもらわないと、下請けになってしまします」。

世界に羽ばたく才能が左京区で輝いているのは、京都の誇りと言えよう。きっとその誇りは、千年続くものであるはずだ。

information

ROBO GARAGE ロボ・ガレージ

京都市左京区吉田本町
京都大学ベンチャービジネスラボラトリーアー2F
<http://www.robo-garage.com/>